

行政会議次第

令和7年1月15日
政策会議室
各執務室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 報告事項

市長公室・令和6年度さいたま市民意識調査の公表について

都市戦略本部・孤独・孤立対策の取組について
・職員の働きがいや職場環境等に関するアンケートの実施について

総務局・文書の電子化率の向上について
・令和7年度さいたま市総合防災訓練について

市民局・交通死亡事故多発非常事態宣言について

福祉局・第38回全国健康福祉祭埼玉大会について

子ども未来局・「令和7年さいたま市二十歳の集い」の開催結果について

経済局・「さいたま市みんなのアプリ」の現状と今後について

4 そ の 他

5 閉 会

令和7年1月15日（水）

行政会議発言要旨

◎市長あいさつ

皆さん、おはようございます。

新しい年が始まりました。昨年、本市は、市民意識調査や幸福度ランキングなど、内外から高い評価を頂きました。しかしながら、我々を取り巻く環境は決して容易なものではありません。人口減少への対応、子ども・子育て施策の強化、デジタル化の推進など多岐にわたる課題に待ったなしで取り組んでいかなければならず、また、災害のリスクや感染症は身近な課題として年々その脅威が高まっており、我々自治体にはより迅速かつ的確な対応が求められています。

こうした中、最も重要なのは、市民の皆さんとの信頼関係です。我々、市役所職員一人ひとりの行動や姿勢が、市民の皆さんにとって「安心」や「信頼」に繋がることを常に意識しなければなりません。特に、皆さん幹部職員の役割は大きく、組織全体を方向付け、職員が力を発揮できる環境を整えるリーダーシップが求められます。率先垂範を心掛け、チームワークを大切にしながら、市民の期待に応える行政運営をともに進めてまいりましょう。全員が一丸となり、未来へ向けた新たな挑戦を続け、更なる飛躍を遂げる一年にしたいと思います。健康に留意しながら、共に力強く進んでまいりましょう。本年もよろしくお願いします。

さて、今年度も第4四半期を迎えました。年度末に向けて、予算や契約、会計事務における事務処理ミスが起こりやすい時期です。再三申し上げますが、各局区においては、法令順守はもちろんのこと、マニュアルの活用やダブルチェックなど、組織として適正な事務処理を行う体制の確立をお願いします。また、それぞれ年度当初に掲げた組織目標の達成に向けて、事務事業の進捗管理を徹底するようお願いします。

また、「さいたま市みんなのアプリ」について、12月議会で議決頂いた、国の補正予算を活用した物価高対策として、過去最大となる33%のポイント還元キャンペーンを行います。全国的にもトップクラスのプレミアム率であると思います。是非、関係事業者の皆様への周知や、所属職員等への案内を積極的にお願ひします。

◎報告事項

〔市長公室〕

●令和6年度さいたま市民意識調査の公表について（広聴課）

今年度の「市民意識調査」の最終調査結果を公表し、シティスタットに登録しました。

「市民意識調査」は、施策の企画・立案、実施、検証等における基礎的なデータとなる、大変重要な調査です。各所管におきまして、調査結果をご活用いただきますよう、所属職員への周知徹底をお願いします。併せて、広聴課におきましては、様々な分析が可能な、全ての回答者の回答内容をエクセル形式で、提供が可能ですので、必要に応じて、広聴課にお声がけください。

〔都市戦略本部〕

●孤独・孤立対策の取組について（都市経営戦略部）

孤独・孤立の状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じ得るものであり、社会のあらゆる分野において孤独・孤立対策の推進を図ることが重要であるという理念の下、

孤独・孤立対策推進法が施行されています。これまで、都市経営戦略部が内閣府との連絡調整窓口を務めてまいりましたが、今後は、福祉部門との親和性を考慮し、福祉局のさいたま市地域福祉連絡会議のスキームを拡張し、地域共生の観点から各局局で連携して取り組んでいただくこととなりました。

福祉分野を超えた取組が不可欠であるため、引き続き各局区のご協力をお願いします。

●職員の働きがいや職場環境等に関するアンケートの実施について（行財政改革推進部）

職員の働きがいや働きやすさの状況を把握し、よりよい職場環境づくりや人事制度、人材育成に活かしていくためのアンケートを実施します。例年は5月頃に実施していましたが、当該年度の取組成果を、年度内に把握する必要があるため、実施時期を1月に変更します。回答期間は16日から29日までです。

年度当初からの意識の変化についての質問などを追加していますが、概ね10分程度のアンケートですので、各局区の職員への周知をお願いします。また、回答状況を22日頃にお知らせしますので、それを踏まえた声かけ等、職員への促しをお願いします。

〔総務局〕

●文書の電子化率の向上について（総務課）

文書の電子化率は、今年度末までに全庁で95%とすることを目標としております。スライドの右側に表示されているとおり、今年度4月から12月までの電子化率の実績は、93.8%となり、前年度、同期間の電子化率89.5%と比較すると、4.3ポイント向上しました。

例年、年度末に近づくとも電子化率が下がる傾向にあります。各局区におかれましては、最終目標の達成に向け、引き続き文書の電子化に取り組んでいただくようお願いします。

●令和7年度さいたま市総合防災訓練について（防災課）

令和7年度のさいたま市総合防災訓練は、九都県市合同防災訓練の中央会場として実施します。開催日は令和7年9月1日、会場は、「荒川総合運動公園」です。

前回の中央会場は、平成28年度に「さいたま新都心地区」において、政府調査団の受入れ訓練や市内全区から市民にご参加いただき、全庁から職員を動員しました。

令和7年度の訓練も、前回と同規模を想定しておりますので、各局区からの職員動員へのご協力をお願いします。また、今後、さいたま市自治会連合会、各区自治会連合会へ訓練実施のお知らせ等をする予定です。

〔市民局〕

●交通死亡事故多発非常事態宣言について（市民生活安全課）

市内の交通事故死者数が、令和6年12月11日時点で16人となり、例年同時期に比べ多発したことから、12月25日に交通死亡事故多発非常事態宣言を発令しました。

なお、令和6年の交通事故死者数は、令和5年の8人と比べると倍となっています。

宣言に基づき、交通事故防止特別対策ガイドラインを策定し、令和6年12月25日から令和7年1月24日までの1か月間、警察等と連携した街頭でのキャンペーン活動などの交通事故防止特別対策を実施しています。

職員一人ひとりが、交通ルールを遵守し、交通事故防止に努めるようお願いします。

〔福祉局〕

●第 38 回全国健康福祉祭埼玉大会について（高齢福祉課）

この大会は、令和 8 年 11 月 7 日から 11 月 10 日の 4 日間、県内で開催され、本市では、交流大会 5 種目の開催と選手への健康教室やおもてなし、イベント等を予定しており、大規模な全国大会となります。令和 7 年度には、4 月に本市実行委員会を設立するほか、リハーサル大会の実施も計画しており、大会準備が本格化します。

円滑な大会の準備及び成功には、各局区のご協力が不可欠となります。今後、実行委員の選出や大会準備にあたり、各局区への依頼や相談等を行う予定ですので、ご協力をお願いします。

〔子ども未来局〕

●「令和 7 年さいたま市二十歳の集い」の開催結果について（子ども・青少年政策課）

去る 1 月 13 日、成人の日に、今年二十歳を迎えられた方を対象に、さいたまスーパーアリーナにて「令和 7 年さいたま市二十歳の集い」を開催しました。昨年度同様、市内 10 区を一括開催し、二十歳代表による社会貢献活動として「フードドライブを通じたボランティア活動」、「アトラクション」や「再会の広場」を実施することができました。

当日は二十歳を迎えられた方、ご家族併せて 12,055 名の皆様にお越しいただき、無事に二十歳の節目をお祝いできました。各局区からのご協力ありがとうございました。

〔経済局〕

●「さいたま市みんなのアプリ」の現状と今後について（地域活性化推進室）

「さいたま市みんなのアプリ」のユーザー数が約 9 万人、デジタル地域通貨（さいコイン、たまポン）の加盟店が、約 1,800 店舗となりました。情報配信やアンケート機能、ポイント付与機能もご利用可能です。アンケート機能は、消防局にご利用いただいています。

また、1 月 7 日から加盟店紹介キャンペーンを行っており、利用者が紹介したお店が加盟店になり、1,000 円以上の決済がされると、1 店舗につき 5,000 円相当分のたまポンを付与いたします。さらに、2 月頃、国の補正予算を活用した物価高対策として、最大 33%のポイント還元キャンペーンを行います。今後も皆様のご利用や、市民への周知等、事業へのご協力をお願いします。

◎次回の行政会議

令和 6 年度第 11 回は、2 月 3 日（月）午前 10 時開始予定です。

令和6年度 第10回 行政会議



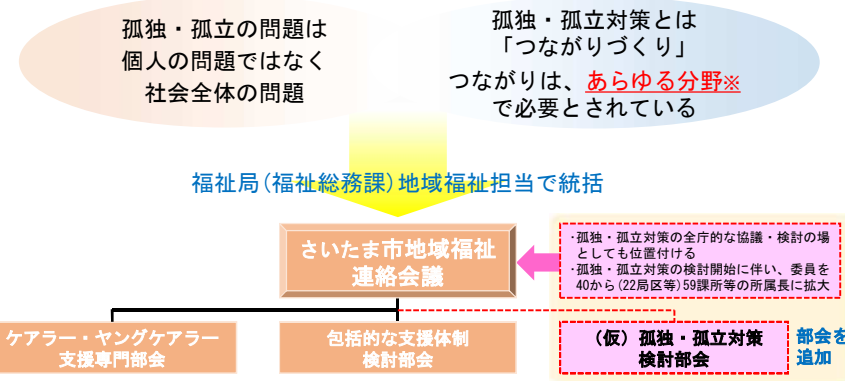
- 令和6年度さいたま市民意識調査の公表について
- 孤独・孤立対策の取組について
- 職員の働きがいや職場環境等に関するアンケートの実施について
- 文書の電子化率の向上について
- 令和7年度さいたま市総合防災訓練について
- 交通死亡事故多発非常事態宣言について
- 第38回全国健康福祉祭埼玉大会について
- 「令和7年さいたま市二十歳の集い」の開催結果について
- 「さいたま市みんなのアプリ」の現状と今後について

令和7年1月15日(水)

【都市戦略本部】

孤独・孤立対策に庁内一丸となって取り組みます

- 内閣府孤独・孤立対策推進室が所管する「孤独・孤立対策」への本市の対応



➤福祉分野にとどまらず、社会全体での取組が求められていることから、各局等のほか、関係機関においても積極的な取組をお願いいたします。

※ 庁内においては、生活に何らかの課題を抱えた人が相談に訪れる福祉、就労、税務、住宅などをはじめ、相談窓口を有する部門、公的サービスの提供機関と関連のある部門など、あらゆる分野

【市長公室】 令和6年度 さいたま市民意識調査の公表について

施策立案・実施の基礎的資料となる、市民意識調査の最終報告書を公表しました。

今後力を入れてほしい（重視する）施策 上位5項目



シティスタット画面



- ・施策の企画・立案等に調査結果を必ず確認し、活用してください。
- ・調査結果は、さいたまシティスタットによる結果分析が行えます。
(シティスタットトップ > 02_市民の声 内)
- ・広聴課ではローデータの提供をしていますので、ぜひご活用ください。

【都市戦略本部】

職員の働きがいや職場環境等に関する
アンケートの実施について（令和6年度末調査）

1. 目的

- ・ 職員の働きがいや働きやすさの状況を把握し、職員のWell-beingにつながる方策の検討に活用
- ・ 今年度の各局の取組によって、前回アンケートから職員の働きがいや働きやすさに対する意識がどのように変化したか確認

2. 実施期間

令和7年1月16日（木）から29日（水）まで

※ アンケートの実施時期について、当該年度の取組成果を同年度内に把握するため、
令和7年度以降は、5月から1月に変更

3. 前回アンケートからの変更点

- ・ 「働きがい」、「ワーク・ライフ・バランス」等の質問について、前回アンケートからの意識の変化に関する項目を追加
- ・ テレワークに関する項目を追加（実施予定であったが、できなかった場合の理由）
- ・ カイゼンさいたまマッチに関する項目を削除（参加経験や開催形態に関する意見）

4. ご協力いただきたい事項

- ・ 本アンケートの周知と回答
- ・ 中間の回答状況を踏まえた各所属への声かけ
(1月22日（水）頃、全庁掲示版で再周知予定)

【参考】

前回アンケート結果（令和6年5月実施）

回答率 **52.7%**

令和5年度
45.2%

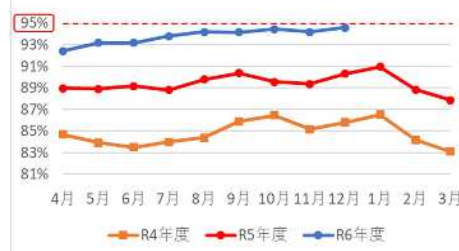


【総務局】

文書の電子化率の 向上について

実績(R6年度4月～12月)
93.8%
(R6年度目標:95.0%)

電子化率の推移(R4～R6年度)



組織名	R5年度 4月～12月	R6年度 4月～12月
市長公室	99.4%	99.7%
都市戦略本部	94.4%	95.0%
総務局	92.6%	95.7%
財政局	91.4%	96.7%
市民局	91.3%	93.1%
スポーツ文化局	90.8%	93.8%
保健衛生局	87.1%	93.2%
福祉局	85.2%	92.0%
子ども未来局	85.9%	92.7%
環境局	88.8%	92.7%
経済局	86.8%	94.4%
都市局	91.8%	93.7%
建設局	91.8%	95.4%
西区役所	91.5%	94.0%
北区役所	90.4%	95.4%
大宮区役所	89.7%	97.0%
見沼区役所	87.8%	93.8%
中央区役所	88.1%	96.2%
桜区役所	88.7%	94.8%
浦和区役所	89.7%	96.6%
南区役所	83.5%	94.7%
緑区役所	89.3%	95.8%
岩槻区役所	88.4%	94.5%
消防局	89.8%	91.4%
出納室	97.0%	98.8%
水道局	89.7%	92.6%
議会局	87.8%	93.0%
教育委員会事務局	88.8%	91.3%
選挙管理委員会事務局	90.9%	95.0%
人事委員会事務局	91.2%	92.4%
監査事務局	94.7%	97.0%
農業委員会事務局	90.7%	91.4%
合計	89.5%	93.8%

【市民局】

交通死亡事故多発非常事態宣言について

○ 市内に交通死亡事故多発非常事態宣言を発令中

- 令和6年に交通死亡事故が多発したことから、標記宣言を発令。
- 発令に伴い、市が「交通事故防止特別対策ガイドライン」を策定し、市民、地域、行政が一丸となり、交通事故防止特別対策を実施。

▼ 発令日:令和6年12月25日

▼ 期 間:令和6年12月25日から令和7年1月24日まで

(参考)

年 別	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
死亡事故者数(人)	16	8	9	10

特別対策の実施概要(重点:高齢者、自転車及び夜間の交通事故防止)

- 早朝、夜間帯に発生する交通事故防止に関する街頭啓発活動の強化
- 交通安全教育(交差点を渡る際の交通ルールの遵守等)の積極的な実施
- 高齢者団体の各種集会・会合等を利用した啓発活動の実施 等



【総務局】

令和7年度さいたま市総合防災訓練について (第46回九都県市合同防災訓練・中央会場)

◇実施日時 令和7年9月1日(月) 9時00分から12時00分まで
※一部訓練を8月29日(金)～31日(日)で実施

◇訓練会場 荒川総合運動公園(桜区大字在家591番地) ほか

◇訓練内容 例年実施している訓練に加え、政府調査団受入れ訓練
九都県市間での連携訓練を実施

前回は、平成28年度に

さいたま新都心地区(三菱マテリアル(株)隣接地)
で中央会場として開催。

市内全区から住民及び職員の動員を実施した。



令和7年度についても、平成28年度と同様の規模を想定しており、
全区役所・関係課など、全庁から職員の動員を依頼する予定でございます。
ご協力をお願いいたします。

【福祉局】

「第38回全国健康福祉祭埼玉大会」について



○第38回全国健康福祉祭埼玉大会の準備が本格化します

- 令和7年4月に本市実行委員会を設立予定しています。

- 関係団体及び関係局から委員を選出
- 庁内連絡会議の設置を検討中



- 令和7年度には、交流大会のリハーサル大会を実施を予定しています。

※全国健康福祉祭の開催及び準備、また、本市実行委員会の設立・運営にあたっては、各局区の協力が不可欠です。ご協力のほど、よろしくお願いします。

【参 考】

○大会概要

- 名称:第38回全国健康福祉祭埼玉大会
(愛称:ねんりんピック彩の国さいたま2026)
- 主催:厚生労働省・埼玉県・さいたま市・一般財団法人長寿社会開発センター
- 会期:令和8年11月7日(土)～11月10日(火)



○本市の役割

- スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会の実施
 - さいたま市開催種目
 - サッカー、テニス、軟式野球、なぎなた、俳句の5種目
- 健康教室・おもてなし・その他イベント等の実施
 - さいたま市の魅力とおもてなしの心を届ける大会を目指す



【子ども未来局】

「令和7年さいたま市二十歳の集い」の開催結果について

【開催結果】

- 日時: 令和7年1月13日(月・祝)
- 参加者数: **12,055人**(前年比547人増)
- 会場: さいたまスーパーアリーナ
- 内容: オープニング(太鼓パフォーマンス)



(当日の様子)

式典

- ・国歌斉唱 ・市長式辞 ・議長祝辞 ・スペシャルメッセージ
- ・社会貢献活動(フードライブを通じたボランティア活動)の紹介
- ・はたちの誓い

アトラクション(ミニライブ、二十歳大合唱)

再会の広場



○式典の様子は、ライブ配信を行いました。

この動画は、1月末までYouTubeにて御覧になれます。

次回 令和6年度
第11回行政会議

令和7年2月3日(月)
午前10時00分～



【経済局】

「さいたま市みんなのアプリ」の現状と今後について

- ・1月10日時点 ユーザー数: 約9万人
デジタル地域通貨(さいコイン、たまポン)加盟店舗: 約1,800店
- ・情報配信、アンケート機能、ポイント付与機能も利用可能です。
アンケート機能は、消防局にご利用いただいています。
- ・1月7日から加盟店紹介キャンペーンを行っています。
紹介したお店が加盟店になり、1,000円以上の決済がされると、
1店舗につき5,000円相当分のたまポンを付与します。
- ・2月以降、国の補正予算に伴う物価高対策として
最大33%のポイント還元キャンペーンを行います。

- ・今後も、職員の皆様のご利用や、市民への周知等、
ご協力をお願いいたします。

さいたま市みんなのアプリ
ダウンロードはこちら



App store



Google Play